

授業科目

車いす・シーティング

担当教員名 前田 雄、須田 裕紀	対象学年	3	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

車いす・シーティングの製作適合に必要な基本的な知識を身につけるために、対象者の疾患、機能、評価方法等について学ぶ。

授業の目的

本科目を通して、車いすの種類や構造を理解し、適応疾患に対する調整の方法を学ぶ。座位姿勢の評価からシーティングアプローチの方法や原理を学ぶ。

学習目標

- 1.本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を説明できる。
- 2.車いす/シーティングの歴史および関連団体について理解している。
- 3.車いす/シーティングの分類、構成要素、機能について説明できる。
- 4.車いす/シーティングを対象とする疾患について理解している。
- 5.車いす/シーティングの製作に必要な座位や姿勢の評価ができる。
- 6.車いす/シーティングの採寸・採型から完成までの行程を理解している。
- 7.車いす/シーティングの適合の手順、評価内容について実践できる。
- 8.車いす/シーティングに関連して車椅子の調整方法について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス	説明	前田 雄 他
2	車いす・シーティング概論	講義	須田 裕紀 他
3	健常者の姿勢、基本姿勢	講義	前田 雄 他
4	車いす・シーティングの対象疾患	講義	前田 雄 他
5	姿勢の評価方法（評価機器の使用）1	講義	須田 裕紀 他
6	姿勢の評価方法（評価機器の使用）2	講義	須田 裕紀 他
7	車いす・シーティングの設計	講義	前田 雄 他
8	車いす・シーティングの適合/まとめ	講義	前田 雄 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	小児から高齢者までの姿勢保持 工学的視点を臨床に活かす 第2版	編集 日本リハビリテーション工学協会、SIG姿勢保持	医学書院	2007年	4,700円+税	
	車いすとシーティング -その理論と実践-	編集 車いす姿勢保持協会	はる書房	2011年	5,000円+税	
参考書	からだにやさしい車いす 車椅子のすすめ 車椅子ハンドブック	著 Bengt Engstrom、訳 高橋正樹、中村勝代 他	三輪書店	1997年	2,718円+税	
その他の資料						

評価方法

最終筆記試験試験70%、小テスト20%、セミナー10%とする。

履修上の留意点

本科目「車いす・シーティング（講義）」は「車いす・シーティング（実習）」とあわせて行われるため、両科目の相互理解が重要である。原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回で-5点を、最終評価から減点する。

オフィスアワー・連絡先

連絡先
yu-maeda@nuhw.ac.jp
suda@nuhw.ac.jp